



「川内原発の運転差し止め却下」に異議あり

四月六日、福岡高裁宮崎支部（西川知一郎裁判長）は川内原発の運転差し止めの仮処分申し立てを却下した。

放射能の放出構わぬ？

「どんなことが起きても原子炉施設から放射性物質が放出されない安全性を確保することは不可能。原発の安全性は社会通念を基準とする」と高裁は云う。「社会通念」という曖昧な言葉で「放射性物質が洩れても構わない」としているのだ。

「地震動に過去の平均を採用した事に合理性がある」と高裁は云う。「過去の最大値で設計すべき」と、住民は云っているが。津波の来る前に地震で福島原発の原子炉や、配管が破壊されたという指摘もある。福島原発の耐震設計手法

にどういふ問題があったのか分かっていないのに「合理性がある」そうだ。

火山のリスク

「原子力規制委が破局的噴火を予測できるというのは不合理。だが、噴火が原子炉稼働中に起こる根拠は無い」と高裁はいう。噴火は予測できないと云いながら、噴火は起きないと云う矛盾。

避難計画に問題ある

「避難計画に住民側が指摘する問題があっても住民の人格権を違法に侵害するとは云えない」と高裁はいう。人格権云々するより、ちゃんとした避難計画を作ってから動かせと云えば済むのに。みなさんはどう思われますか？

九品仏

東京都世田谷区 二〇一六年三月



来週はお休みします

自由が丘に近い世田谷区奥沢にかつて吉良家の奥沢城があった。忠臣蔵の敵役の吉良家だ。奥沢城は江戸時代初期に廃城となった。その後浄土宗知恩院の末寺としてこの浄真寺が建てられたそうだ。広い境内には三つの

阿弥陀堂が並んでいる。真ん中のお堂が「上品」、向かって右が「中品」、左が「下品」と呼ばれる。各々に「上生」「中生」「下生」の阿弥陀様が鎮座。

合計九体の阿弥陀様。それで九品仏と呼ばれる。三月の末、写生会に出かけた。折から桜がほぼ満開。

近くの保育園児がお散歩に来ていた。賑やかな声が聞こえる。ベンチには鞆を抱えて一休みというセールスマンも。

来週はお休みします

